

連携協働通信「架け橋」

令和6年6月28日

横浜市教育委員会 学校支援・地域連携課 発行 NO. 38

各学校や地域における地域学校協働活動の推進を目的に、地域と学校の連携・協働に関する情報を発信する連携協働通信「架け橋」を発行しています。当課の Web サイトでもご覧いただけます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/sesaku/chiikirenkei/gakkoushien.html>

学校運営協議会の設置について

各学校の校長先生におかれましては、学校運営協議会の運営や設置についてご尽力いただき本当にありがとうございます。**令和6年4月時点で499校**に学校運営協議会が設置されています。**今回、10月の設置申請が令和6年度の最後の設置申請の機会**になります。設置申請に向けて**8月中旬に設置申請書類と委員名簿の提出**をお願いいたします。**(YCAN 学校支援・地域連携課のページに掲載)**

設置に向けて、地域との調整や委員の選定、既存の組織の運用など様々な部分において、説明が必要という学校においては、設置に関する相談や地域の方や委員になられる方への説明などを教育委員会から行うことが可能です。その場合は、ご相談をいただければと考えておりますので、ご連絡をいただくとありがたいです。引き続き、よろしくお願いいたします。各校において持続可能な活動となるよう研修等も行い、役割や制度について周知していく予定です。ぜひ協議会委員の方や教職員の方々にも研修の参加について、お伝えいただきたいと考えています。

学校運営協議会の10月設置について

学校運営協議会 設置の機会	
設置日	令和6年10月1日
申請書提出の締切日	8月中

○申請の際は、設置申請書と名簿を合わせてご提出をお願いします。(YCANに掲載)

※新規設置校については、第一回の学校運営協議会の際に教育委員会事務局から学校運営協議会委員の方々に委嘱状をお渡しさせていただきますので、開催日時が決まりましたらお知らせください。

※学校運営協議会委員の方々に制度の説明や役割等をご説明させていただくことも可能です。その際は、学校支援・地域連携課がご説明に伺いますので、ご連絡をお願いします。

新吉田第二小学校 学校運営協議会 視察報告

5月20日（月）に、港北区の新吉田第二小学校で学校運営協議会が開催されました。新吉田第二小学校の学校運営協議会は令和4年度に立ち上がりました。新吉田第二小学校の板橋校長は、「教育目標【豊かな心と自ら学び続ける力を持ち 健やかに生きる子の育成～のびていこう「わかる つながる 高め合う」はやぶちっ子～】のもと、最上位の目標として「児童が社会の中で生き抜く力～レジリエンス～を醸成する」を目指して学校経営を行っている。限られた時間を大切にすることで、教員が教材研究や修養・情報共有を行うとともに、スピード感をもって児童・保護者対応を行っていくことを意識している。教育活動において地域がとても協力的であり、教職員も子どもたちのために一生懸命取り組んでいる。社会に開かれた教育課程の実現に向け、学校と地域と一緒に進めていきたい。」と話していました。新吉田第二小学校は、学校運営協議会を教職員の人材育成の場としても位置付けており、昨年度は授業参観で教員や子どもたちの様子のほかに、保健室や事務室、給食室や技術員室、図書室の業務内容や環境などについて職員が協議会委員に説明する機会を設けたとのことでした。今年度の第1回目の協議会は**学校代表としての自覚をもって全教職員が参加**し、地域や保護者等で構成されている学校運営協議会委員の方々とともに熟議の場を設けるとのことで、学校支援・地域連携課もオブザーバーとして参加させていただきました。

グループ討議では、自己紹介や授業参観の感想を交流した後、「子どもたちに身に付けてほしい“社会を生き抜く力（レジリエンス）”」というテーマのもと、6グループに分かれて熟議がなされました。各グループで様々な話が展開されました。

〈グループ協議で出た意見〉

◇様々な「コミュニケーションの力」が大切である。

- ・「ありがとうございます。」が言える。
- ・人を頼ることができる。
- ・伝える力、聞く力などの言語能力。
- ・よりよい人間関係を築くことができるようにしていきたい。

◇情報を取捨選択し、課題を解決していく力。

- ・何が必要かを判断し、正しい情報を見抜くこと。
- ・デジタル機器の適切な利用方法→学校でも、その手段を学ぶ必要がある。

◇あきらめない力

◇相手に対する思いやり

◇想像力

◇善悪の判断

◇感情をコントロールする力

・・・

今回のグループ協議では、地域の方と教職員が同じグループとなり、それぞれの立場から子どもたちのことを考え、自分事として話をされていたのが印象的でした。教育委員会事務局からも、学校運営協議会は法律に基づいた機関であり、熟議を通して、教員の考え方や地域の方の考え方を共有し、信頼関係をつくって



いくことが大切であること。お互いが本音を伝えられる場となるように、これからも取り組んでいけるとよいのではないかというお話をさせていただきました。

今回の新吉田第二小学校の取組は、全教職員と協議会委員が熟議の場をもつという形でしたが、同じような取組を行っている学校もあると思います。今回のような取組を参考にして、より充実した学校運営協議会となるよう、教育委員会事務局としても引き続き発信を続けていきたいと思っています。

学校・地域コーディネーター研修・交流会 報告



5月22日、30日に、学校・地域コーディネーターの皆様を対象に今年度初めての研修・交流会を実施しました。

研修では、教育委員会事務局より、学校運営協議会や地域学校協働活動の役割について再確認していただくために、パワーポイント資料にて説明いたしました。主な内容として、地域学校協働活動は、①各学校の教育課程に沿って行うこと②学校のニーズや実態に合った活動を行うこと③子どものための活動になっているかを振り返ることなどが大切であることをお伝えしました。

さらに、学校・地域コーディネーターの役割や地域学校協働本部の活動について、大事な点を再度確認させていただきました。

講演では、講師として、横浜市学校・地域コーディネーター連絡会高橋 由美子様よりお話いただきました。高橋様からご自身のこれまでを自己紹介いただいた後、参加者のみなさんもライフチャートを用いた自分自身の振り返りを行うことで、学校・地域コーディネーターとしての「糧」について考える時間を設けました。また、後半の交流会では、それぞれの学校で活動を進めるにあたって、現状の活動内容や課題などについてグループ協議を行い、自身の活動を振り返っていききました。



どのグループでも、活発な意見交換が行われていました。具体的な成果や課題について情報交換することを通して、参加者のみなさんが今後の活動に向けての見通しをもったり意欲を高めたりすることができた様子でした。

今後も学校・地域コーディネーターの方がこれまでの活動を振り返ったり、今後の取組について考えたりしていくことができるような研修・交流会を計画、実施していきます。

振り返り

(アンケートより抜粋)

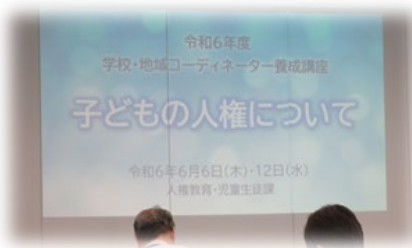
- ・ 教育委員会の考え方、学校・地域コーディネーターの役割がより明確になり、参加して良かった。
- ・ コミュニケーション力が大事だと大変良くわかりました。すごく自分にとって良い研修会でした。ありがとうございました。
- ・ 毎回、おさらい気分で学びなおすつもりで来るのですが、新しい学びや発見が多いです。また機会があれば参加したいです。ありがとうございました。
- ・ やはり来てみて良かったと思いました。経験談や問題点を伺えたことで、ヒントになりました。
- ・ 学校の協力があっての活動なので、より教職員、学校の意識向上がはかられればよいなと思いました。
- ・ 改めて、学校と連携をとらなければと思いました。

学校・地域コーディネーター養成講座① 報告

今年度の学校・地域コーディネーター養成講座がスタートしました。

教育委員会事務局からは、学校支援・地域連携課より「地域とともに子どもを育む学校づくり」について説明しました。学校・地域コーディネーターは何をすればよいのか？なぜ、連携・協働する必要があるのか？地域学校協働活動はどのように進めればよいのか？など、学校・地域コーディネーターの役割と意義について基本的な事項をお伝えしました。

また、人権教育・児童生徒課より「子どもの人権」についての説明をしました。横浜市の人権教育について、事例演習などを通して確認しました。「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校・まちをめざして、人とのつながりから学び自分も他の人も大切にできる子どもの育成のために大切なことをお伝えしました。



後半は、横浜市学校・地域コーディネーター連絡会 高橋由美子氏を講師に、以下のようなワークショップや交流を行いました。

- ①アイスブレイクとして、隣の席の人との自己紹介を皮切りに、3人4人と人数を増やしながら、色々な人と行いました。お互いに声を掛け合いながらグルーピングをしたり、人数調整をしたりするこの活動を通して、コーディネーターに必要な調整力を体感することができました。
- ②ペアで、1本のペンを互いの指1本ずつで挟んで持ち、講師の指示で、言葉を介さずペンの高さや傾きを変えるレクリエーションをしました。このレクリエーションは、「言葉で伝えることの大切さ」や「人によって、言葉の受け取り方が様々であること」などに気付く機会となりました。

③4～5人でグループを作り、本日の感想を伝え合ったり、自分の学校で日頃行っている協働活動について紹介したりしました。

全5回の研修を通して、学校・地域コーディネーターについての理解を深めていくことができるよう、引き続き研修を進めてまいります。



今年度、今後の研修のお知らせ

「学校運営協議会」と「地域学校協働活動」の一体的な推進について

学校運営協議会会長、学校運営協議会委員、学校・地域コーディネーター及び教職員を対象に、標記研修を開催します。

○日時及び会場

	日時	会場
1	7月1日(月) 15:00～	花咲研修室
2	7月4日(木) 15:00～	花咲研修室

※講師は 明星大学教育学部 特任教授 朝倉 美由紀 氏 を予定しています。

※詳細は、令和6年5月29日付教学第609号発出の通知でご確認ください。

引き続き、どうぞよろしくお願いたします。
学校支援・地域連携課 671-3278